20　　年度　名古屋芸術大学人間発達学部　卒業論文　要約

**メインタイトル**

**―サブタイトル―**

**学籍番号　　　HC　氏名**

**指導教員名　加藤　聡一**

　本研究は、　　　を明らかにすることを課題とする。これを問題としたのは、　　　からである。また、　　　に着目したのは、　　　と考えたからである。

そこで、仮説を、

　　　　　　　　　　　　　　　と構成した。

　本研究の研究方法は、まず文献研究によって仮説を構成し、次に仮説によって、　　　　　　を対象に、分析・検討する方法である。（以上、第1章「問題設定」）

　第2章「　　　」では、

をまとめた／整理した／ことがわかった。

第3章「　　　」では、第2章で構成した仮説を視点として、　　　　の分析を行なった。

　分析対象の　　　は、　　　　　　　というものである。はじめに　　　　をまとめてから、　　　　の分析結果を記述してまとめた（第1節）。

　以上を踏まえ、第1章で構成した仮説で

　　　　　　　　を分析・検討した結果を考察して、

　　　　　　　　　ということが結論として明らかになった。また、とりわけ以下のことが発見された（第1節）。

　以上の研究結果から、保育活動には以下の指導上の留意点があると考えた。　　　　（第2節）

　残された課題としては、　　　　　　　がある。（以上、第　章「綜合考察」）。

　本研究で学んだことは、　　　　　である。

◯主な参考文献